

平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号

平成 28 年 6 月 7 日

静岡県病害虫防除所長

1 病害虫名 キクノネハネオレバエ *Psila nigricornis* Meigen

2 発生物物 にんじん

3 発生経過及び状況

平成 27 年 12 月に県西部地域のにんじん栽培ほ場から、根部に食入被害のあるにんじんの持込みがあり、ハエ目幼虫の寄生を確認した(図 1、2、3)。現地ほ場で食入被害のあるにんじん及びほ場の土を採集し、羽化した成虫を名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、平成 28 年 5 月にキクノネハネオレバエと同定された(図 4、5)。

4 海外及び国内での発生状況

本種は、ヨーロッパ、北アメリカ、ロシア、イランに分布する。国内では昭和 63 年に兵庫県で初めて採集され、国内初発見の記録として報告されている。にんじんでの加害は平成 17 年に愛知県で初めて確認され、それ以降、三重県(平成 19 年)、鳥取県(平成 21 年)、香川県(平成 23 年)で確認されている。

5 被害

幼虫がにんじんの根部に食入し、表皮下を水平方向に食害する(図 1)。根の芯部への食入はあまりみられない。食害により生じた傷から根部が垂直方向に裂開することもある(図 2)。

6 特徴

(1) 形態

老熟幼虫の体長は約 7mm、体色は黄色味を帯びる(図 3)。成虫の体長は約 4mm、体色は光沢のある黒緑色、頭は赤黄色、足は黄色(図 4、5)。

(2) 生態

国内では、にんじんの収穫期となる 12 月～1 月に幼虫による加害が確認されているが、生態については不明な点が多い。ヨーロッパでは、キクの根が本種の幼虫により加害されることが知られている。

7 防除対策

(1) 平成 28 年 6 月現在、にんじんにおいては本種に対する登録農薬はない。

(2) 被害根等の収穫残さは、ほ場から持ち去り適切に処分する。

(3) 本種と疑わしい個体を見つけた場合は、病害虫防除所に連絡する。



図1 被害の様子

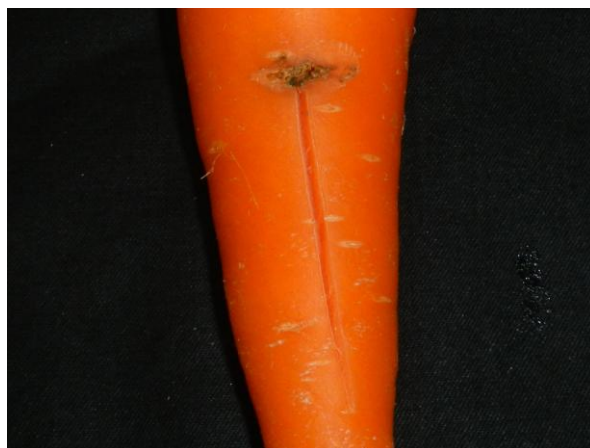


図2 食害による裂開の様子



図3 幼虫



図4 成虫側面



図5 成虫背面

問い合わせ先： 静岡県病害虫防除所

TEL. 0538-36-1543